

問題【社会】

日本地理からの出題です。次の問いに答えなさい。

- (1)大阪府と兵庫県を中心に広がる工業地帯は何か。
- (2)東京と神奈川県を中心に広がる工業地帯は何か。
- (3)愛知県から三重県に広がる工業地帯は何か。
- (4)福岡県北部に広がる工業地域は何か。
- (5)瀬戸内海沿岸の県に広がる工業地域は何か。
- (6)新潟県から福井県にかけて広がる工業地域は何か。

豆知識 雑学コラム

工業の盛んな場所は？

日本は資源のほとんどを海外からの輸入に頼っています。例えば、石油や鉄鉱石といった鉱産資源は通常、船で輸入します。そのため工業地帯や地域の多くは、原材料の輸入や製品の輸出をしやすくするために、臨海部に立地しています。「原材料を輸入して、製品に加工して輸出すること」を加工貿易と言います。この言葉も説明できるようにしましょう。

近年では、高速道路や自動車道などの高速交通網も発達し、内陸部にも工業地域が見られるようになりました。北関東工業地域はそのひとつです。この工業地域は茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県にかけて広がっています。また、工業地域ほどの規模でなくても、町の一部などに工場が計画的に配置されている場所があります。ひょっとしたら、皆さんの家の近くにもあるかもしれません。それを「工業団地」と言います。製品を輸送するのに便利なように、空港や高速道路のインターチェンジの近くに作られることが多いです。なお、この工業団地はその町の雇用にもつながっています。

日本の経済が発展するにつれて、日本の工場が海外に移転するというケースが出てきました。要因は様々ですが、工場を途上国に移転する場合、その理由に「日本と比べて人件費（給料）が安い」ということがあります。その分、生産にかかる費用を抑えることができます。また、人口が多い国では、それだけ製品を買う人がたくさんいます。商品を売り買いする場のことを「市場」と言いますが、企業にとっては、「市場」が大きいほど、利益を得やすくなります。つまり「安い労働力と市場を求めて」海外に進出しているのですね。なお、日本国内だけでなく、国外にも生産や販売の拠点を持つ企業のことを「多国籍企業」と言います。

ちなみに(1)～(3)の言葉の由来ですが、「阪神」は大「阪」と「神」戸を指して。「京浜」は、東「京」と横「浜」です。では、「中京」は？ 東「京」と「京」都の「中」間にあるから。イメージつきましたか？ (笑)

【解答】

- | | |
|-------------|------------|
| 瀬戸内工業地帯 (9) | 阪神工業地帯 (5) |
| 北九州工業地帯 (4) | 中京工業地帯 (3) |
| 京浜工業地帯 (2) | 阪神工業地帯 (1) |